

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年3月7日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO38 校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

新年度にむけて・・・



No34 に掲載しましたように、来年度は、「対話」を大切にする天神山小学校になってくれたらと願っております。そのような事を考えながら、教室周りをしていた時、ひまわり3組に写真のような掲示物が貼ってありました。

教室掲示は、通常、子どもたちの頑張りやめあてが貼ってあります。しかし、ひまわり3組には、「先生」、教師側が気を付けることが掲示してありました。まず、この姿勢に感動しました。

中身も素晴らしい。「おひたし」ということで、「怒らない」「否定しない」「助ける」「指示する」。個人的には、4つ目の「指示する」は「支持する」の方が良いとは思っていますが・・・

ただ、教師の姿勢に視点をあてていることが素晴らしい。自分は、教師が変われば子どもも変わると思っています。何かあった時に、怒ったり、否定したりしても、負の感情だけが残りに、次に生かされません。命にかかわる場合は別ですけど・・・

来年度、というか今からでも、何かあった時に、頭ごなしに怒ったり、否定したりせず、

「どうしたん?」「どうしたの?」

という言葉の第一声とし、子どもの心に寄り添い、共感し、本当の思い・願いを理解していく「対話」を大切にしていけたらと思っています。これをコミュニティスクールとして学校でも、家庭でも、地域でもできると、子どもも自己指導能力を身に付け、豊かな心も育つ、素敵な天小校区になっていくと思っています。